

令和6年5月3日 倉山塾東京支部憲法記念日特別講演

最強の憲法論議がここにある!!参加レポート



「100見は1触にしかず」とは、某有名漫画のセリフだが、今回の特別講演はまさにその通りであったと思う。自慢ではないが、私は倉山塾生として10年以上学びを続けている。最近はあまり言われなくなったが、所謂「戦前」の人間でもある。

当然のことながら塾長の著書を読んだりチャンネルくららを日常的に見ている。浜田先生やよこ弁先生のYouTubeも見ているし、山本先生の救国シンクタンクの講演会にも参加させていただいた。しかし、著書を読んだりYouTubeを見るだけでは感じ取れないこともある。それは、「人の熱」である。開始の15時になる頃には会場は超満員。入場のBGMと共に講演者の方々が入場し、会場は熱気に包まれた。司会者がプロレスさながら



の紹介文を読み上げ、世の言論界に宣戦布告をするという立ち上がり。今までと違う立ち上がりに、ワクワクしながら講演が始まった。講演が始まると種類の違う熱が会場を包み始める。言うなれば、「知的な熱」とでも言おうか。憲法とはなにか、国体とはなにか、自由とはなにか。くにまもりの根幹に迫る、熱い議論が繰り広げられた。その議論に必死について行くために、頭とメモを取る手をフ



ル稼働させた。お陰で、90分の公演があつという間の時間だった。終わった後には脳が疲労していたが、非常に心地よい疲れだった。そして、倉山満門下で10年以上学んできて、憲法のことについては多少は知っているつもりだったが、今回の講演を聞いて分からないことがまた増

えた。それだけ奥深い世界で、まだまだ学び続けたいといけないと気が引き締まる思いがした。

講演やイベントに参加する最大のメリットは、塾生の感情に触れられることだと思う。「国を憂う人がこんなにもいるのだ」と思うと、自分の学びのモチベーションにもなるし、当日感じたことを語り合う場（懇親会）もある（私は参加できなかったことが悔やまれる）。また、年齢層の広さにも驚いた。最年少はなんと0歳！笑 高校生の方もいれば、人生の先輩方もいた。レベルは高いが、参加するだけの価値は値段の比ではない。倉山満の言論に「感動」したのなら、ぜひ「参加」してみることをおすすめする、決して後悔はしないはずだ。



最後に講演者の横山賢司氏、山本直道氏、村松恒雄氏、参戦してくださった浜田聡参議院議員、倉山塾長の著書「自由主義憲法」をこの日に間に合わせてくださった藤原書店藤原良雄社長様とご担当の山崎優子様、竹村貴子支部長と清水拓遥事務局長、運営スタッフに心から感謝する。

令和6年5月4日

倉山塾東京支部 倉教組委員長
青沼弘憲

